



地域の公共交通の現況

白岡市は、面積24.92km²の市域の中央をJR宇都宮線が縦断し、二つの鉄道駅(白岡駅、新白岡駅)を有している。本市の路線バスは、「JR白岡駅西口・菖蒲仲橋」「JR蓮田駅東口・菖蒲仲橋」「JR蓮田駅西口・菖蒲車庫」の3路線である。いずれもJR宇都宮線の西側地域を運行する路線であり、JR宇都宮線の東側地域では路線バスが全く運行されておらず、また、3路線のうち2路線は、JR蓮田駅を起点として市域の一部を經由し、久喜市へ運行するものであり、市民の利用者は一部に限定されている。なお、本市では、平成11年に「町内循環バス」の運行を開始したが、利用状況や運行経費などを勘案し、平成19年3月に廃止した経緯がある。

事業の目的・必要性

JR宇都宮線東側の交通空白地域における高齢者などの移動手段の確保は大きな課題となっている。市民の通院・買物などの日常生活における移動手段を確保し、交通利便性の向上を図るため、費用対効果の高い地域公共交通サービスを構築し、維持していくことが必要である。

このため、本市では、協議会での検討の結果、公共交通を利用する需要が市域内で分散していることを踏まえた上で、高齢者や駅・バス停から離れた地域の居住者などを主な対象者として日常生活における移動手段を確保することを目的にデマンド交通の運行を行っている。

事業の概要

公共交通空白地域を解消するため、デマンド交通の運行区域を市域全体とし、また、デマンド交通の運行により、高齢者や駅・バス停から離れた地域の居住者などの買物や通院などの日常生活に必要な移動手段を確保している。

【デマンド交通「のりあい交通」】

事業者名：昭和タクシー
 運行区域：市内全域
 運行日：月曜～土曜(祝日、年末年始運休)
 運行時間帯：8時30分～17時30分
 運行本数：8便/日
 運行車両：セダン型車両
 運賃：500円(障害者、小学生は300円、乗り合い利用の割引制度あり)

面積	24.92km ²	
人口 (H31.1.1時点)	52,497人	
	15歳未満	6,584人
	65歳以上	14,002人
高齢化率	26.7%	
世帯数	21,379世帯	

協議会開催状況

○協議会の開催状況

- ・第20回(平成29年5月23日)
生活交通確保維持改善計画を協議
- ・第21回(平成29年8月10日)
生活交通確保維持改善計画を協議
- ・第22回(平成29年10月20日)
運行内容の変更について協議
- ・第23回(平成29年12月7日)
運行事業者の選定について協議
- ・第24回(平成30年1月23日)
事業評価について
- ・第25回(平成30年5月30日)
生活交通確保維持改善計画を協議
- ・第26回(平成31年1月18日)
事業評価について

前回の事業評価結果の反映状況

- ・啓発品を作成し、地域の自治会などのイベントにおいて配布したことにより、制度の周知と理解促進を図った。
- ・民生委員等対象の出前講座を実施し、制度の理解促進、利用登録者の増加を図った。
- ・平成30年4月から12時30分からの1時間の運行を開始し、利便性の向上を図った。

定量的な目標・効果

【目標】

- ・1日当たりの利用者数を35人とする。
- ・収支率を19.0%以上とする。
- ・7・8・9便(平成30年3月までは6・7・8便)の利用者を3人／便以上とする。

【効果】

- ・デマンド交通の運行区域は、市域の全体となるため、公共交通空白地域が解消される。
- ・デマンド交通の運行により、高齢者や駅・バス停から離れた地域の居住者などの買物や通院などの日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。



目標効果の達成状況

1日当たりの利用者数:37.1人

収支率:19.5%

7・8・9便の1便当たり利用者:3.3人、2.9人、3.0人

- ・1日当たりの利用者数が目標の35人に対して37.1人となり、収支率が目標の19.0%に対して19.5%となり、1日当たりの利用者数、収支率ともに目標に到達した。1日当たりの利用者については、前年度の34.9人に対して2.2人の増となった。収支率については、前年度19.1%から0.4ポイント改善された。1便が増加したことにより運行委託費用が増加している中での改善であり、ニーズに合った運行内容の改正となったと考える。
- ・7・8・9便については、1便当たり利用者目標が3人であるところ、それぞれ3.3人、2.9人、3.0人となり、ほぼ目標を達成した。前年度では、それぞれ3.1人、2.4人、2.5人であり、いずれも増となっている。

アピールポイント

地域からの意見・要望に耳を傾け、乗降場所を増やすなど、実現可能な事項は対応している。
また、同時に2人以上で利用する際に、運賃を割り引く「乗り合い割引制度」を設け、効率的・効果的に事業運営ができるよう工夫している。

今後の改善点

- ・引き続き、地域の自治会・民生委員などの協力を得ながら、制度の理解・利用促進を図るとともに、地域の声を聞き運行のあり方を考えていく。
- ・運行状況を注視し、効果的・効率的な運行となるように努めていくものとする。

